

＜救助隊からのお知らせ＞

雪山搬出訓練の報告

日時：2020年1月26日(日) 場所：大阪労山事務所

救助隊員：7名 松本、山下、松芳、岡林、水川、西村、近藤 一般参加者：13名

報告： 松芳健一

1月25日～26日にかけて救助隊主催の雪山搬出訓練を比良堂満岳で行う予定でしたが、記録的な暖冬で、雪不足により、急遽、労山事務所で開催しました。場所や内容を変更したにもかかわらず、救助隊員7名、一般13名が参加し、雪山における事故発生時の救助、搬出に必要な技術として、ツェルトやテントのシート梱包訓練をしました。救助隊がデモを行った後、2班に分かれて梱包練習をしました。その後、救助隊にて新たに購入したスクッドストレッチャーを使った梱包訓練もおこないました。

今年は労山事務所での開催でしたが、シート梱包については普段からよく習熟しているメンバーが中心となり、テキパキと素早く梱包できるように丁寧に教え、また時間もかけて訓練したので、かなり梱包技術が上がり、とても有意義な時間になったと思います。決して使いたい技術ではないですが、そういう場に遭遇した際に、少しでも役立てられるように知識、技術を向上していきたいものです。



【シート梱包手順】

- ② ツェルト等のシートを広げます。
- ② 銀マット等（シェラフ、マットやザック等）のクッションを敷きます。
※地面熱の熱を遮断すること。
- ③ 要救助者を寝かせる。ハーネスにバックアップロープをセット出来るようにしておきます。※シェラフとかも利用。背中側のクッション、保温等をしっかり行う。
- ③ 隙間、首、腰、膝の下等に衣類等でクッションをいれます。
※プラティパスにお湯入れ湯たんぽ代わりにし要救助者の胸の上に置きます。出来れば熱いお湯。
- ⑤ 肩、腰、膝の両サイド3ヶ所ずつの出来るだけ下（背中側）の方でカラビナや 雪玉等をシートに包んで捻って（てるてる坊主の頭を作るように）シュリングをクローブヒッチでかけます。左右で同じ位置になるよう注意。

- ⑥シートを合わせながらシュリングを左右からシートベントで結束します。
※不慣れな場合は本結び ※呼吸空間を作った上で、首筋と顔にウェアなどをかぶせて保温する事
- ⑦頭側と足側の先はキャンディーの袋のようにねじって締めます。頭側は、短いシュリングでねじった部分をクローブヒッチで締め、余った先を折返してその上からもう一度クローブヒッチで締めつけます。足側は、梱包に使う長いロープを使って、そのロープのセンターの位置で頭側と同じようにクローブヒッチ2回で縛ります。
- ⑧足側から出ているロープで、⑤で作成した膝、腰、肩の両サイドにあるてるてる坊主の頭に順番にクローブヒッチでかけていきます。下から順にすること。
- ⑨頭側は⑦で結んだ短いシュリングと今の2本のロープ3ヶ所にカラビナをつけ、メインロープに大きく作ったエイトノットで流動分散をとります。
- ⑩搬送

